

北汲沢地区だより

ね も の き

第102号 発行日 2021年1月1日

発行 北汲沢連合町内会、北汲沢地区社会福祉協議会

~傘下の5町会 コロナ禍に負けず地域活動健在~

年末統一パトロール実施!

北汲沢連合町内会恒例の年末統一パトロールは、コロナ禍の厳しい情勢にも拘らずコロナ対策（全員マスク、消毒液、非接触の体温計）を充分して、25日～29日の5日間全町内会で実施し、住民に安心感と元気をPRすることができました。参加者は延べ320名

町会毎の活動状況

◆東明東町内会

参加者 役員のみ 延べ
44名

例年の子ども家族を含めたものに比べさみしい5日間でしたが、コロナ防止を取りながら実施



◆東明西町内会

参加者 役員・防災委員・有志 延べ30名

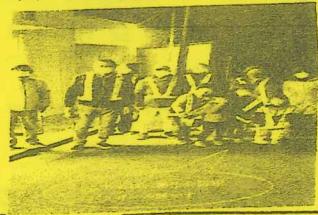
危険箇所の点検と巡回を中心に実施



◆新生会

参加者 役員と親子 延べ33名

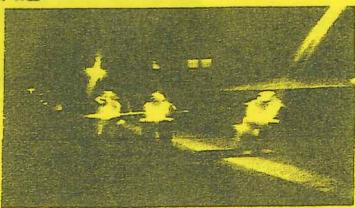
例年と同じ規模ではできないため1/3程度の人数で実施。ノボリ旗と防犯意識の向上に努力



◆六郎丸町内会

参加者 役員のみ 延べ
40名

例年の班長を含めての実施ができず、常任委員だけで実施



◆富士見町内会

参加者 役員・班長・家防・子供会延べ173名（子ども74名）

今年は子供会が中心に事前にラインで連絡参加を呼掛け、2回参加の日程予約で当日に臨んだ。例年の全員声掛けは前以て録音し、当日はマイクで流し、拍子木だけを打ち廻るだけで実施。時間も2コースに分かれ、密を避け、時間を短縮して実施。結果は良好で、親子の輪が広がった感じで今後この方法で実施。



コロナ禍の中でも工夫して 各町内会は活動を実施！

北沢連合町内会では、今年度コロナ感染防止のため主要行事は全て中止としましたが、各町内会では厳しい情勢にも拘らず個別に工夫した活動を行っています。今号では、その一部を紹介して地域に元気を発信します。

＜東明東町内会＞ 防災訓練 32名参加

1月14日（土）9時～11時まで、コロナ禍でも工夫して防災訓練を踊場公園で開催した。当日は戸塚消防署、消防

団の指導の下、消火栓からの放水訓練、消火器の取扱い、心肺蘇生法の訓練を実施した。



＜東明西町内会＞ 子供会のクリスマスプレゼント交換会

今年は、様々なイベントが中止になる中、12月5日（土）子供達の安全を第一に考え、少しでも子どもたちに笑顔になってもらいたいと思い、クリスマスプレゼントを配布する事で、役員一同ワクワクしながらプレゼントを選びました。

無事子どもたちへの配布が完了し、たくさんの笑顔に出会うことができました。

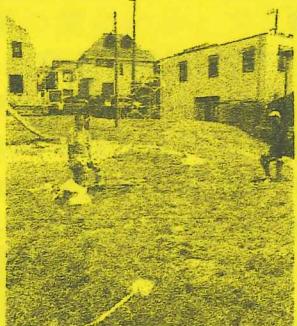


＜新生自治会＞ 子供広場の整備

子供たちのワーウーと楽しそうに遊ぶ声、バタバタと勢いよく駆け回る様子は、私たちに元気を与えてくれます。昨年は子供たちが楽しみにしていた夏祭りも餅つき大会もコロナで開催できませんでした。

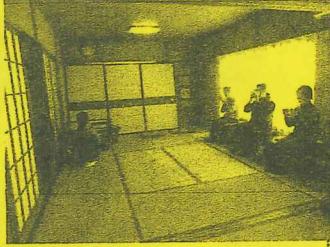
新生自治会ではせめて子供たちが遊べる場所だけはと思い、「子供の遊び場」「鉄塔周辺」それに繋がる「壱町ヶ谷公園」の整備に努めました。

そうして今、公園は子供たちの楽しそうな遊ぶ声で満ち溢れています。



＜富士見町内会＞ 文化祭

コロナ禍で巣ごもりする人が多いので、文化祭に展示する作品が多いだろう。密にもならないので開催しようとの意見で、実施に踏み切った。作品は31人から45点が展示され、多くの住民がお茶会の一服を楽しみながら、見学に来てくれた。



ミニ門松作り

最近は青少年指導員のミニ門松作りを、町会としても取り入れ好評だったので、全員に体温計測定、消毒、密の防止など事前に竹を飾れるよう準備して実施。親子10名が参加。



地域の耳寄りなはなし



生活のヒント

新型コロナウイルスに負けないで

- マスクは外さない
- 外出から帰った時は、必ず手洗いを
- うがいや口腔ケアを怠らない
- 毎朝、血圧をチェック
- 自分の役割を実践



俳句投稿開始…第10回

風去りて 上品なりし 冬木かな

無風になれば天空にすらりと美しく伸びやかな立ち木となり冬の木の構え見せる。梢には芽吹の膨らみの現れる



冬紅葉 舞うは静と 鞍馬寺

寺は山の中ほどに有る。静御前は鎌倉で舞う。冬紅葉は京の鞍馬で舞う。義経は逃避行で奥州路である。

(新生自治会 町田 秋泉氏投稿)

短歌を作る楽しみ…第13回

松の内の静謐の中ヘリコプターの音が響き渡ると箱根駅伝の選手達が花の二区戸塚中継所に近づいたと分かります

東海道 戸塚に住まう 正月は
へりの音響く 箱根駅伝



若者が限界迄の必死の力を出してタスキを渡す姿に感動し勇気活力伝播、スポーツ効果を身近に感じられる戸塚の正月である。

(東明西町内会 佐々木つね氏投稿)

俳句投稿…第10回

梅ノ木に 何の鳥なく 雪しぐれ

雪しぐれの中、何の鳥か分からぬのですが入れ替わり立ちかわり梅ノ木に来て鳴いている様子。



ボケの花 今日見てたるや 冬の色

我家ではぼけの花が只今満開なのですが今日つくづく見ているに冬の色に変わっていました。

(東明西町内会 三原 利子氏投稿)



情報コーナー

連合統一防災訓練

コロナ禍の中でも、防災訓練だけは実施しようとの皆さんの思いで、今年も開催します。

- 開催日時 21年1月24日(日) 10時~
- 場所 踊場公園円形広場
- 訓練内容 煙体験、心肺蘇生法、車椅子他
- 集合方法 各人各様でマスク着用
- 受付 アルコール消毒、検温



参加者には、マスク、お茶他を配布します

連合防犯講習会

- 開催日時 21年2月19日(日) 10時~
- 場所 六郎丸会館
- 講師 戸塚警察署 中村 雄平氏



～日本人が好むマグロの由来とは～

年末年始、寿司や刺身を食べた方は大勢いると思います。中でもマグロは大変馴染みがある魚です。その由来は諸説ありますが、魚偏に有ると書く由来は、「有」(ある)が存在する、持っているの意味を持つので、存在感がある魚(魚の中の魚)、回遊する意味がある魚、肉付きがよい魚に由来するなどあるようです。肉付きという点からみると、マグロの「トロ」は値段が高く人気もありますが、美味しいとされたのは戦後で、それまでは赤身が人気であったようです。今では、魚市場で、腹回りの脂肪の肉付きよいマグロが高値をつけます。毎年初売りのマグロは高値で競り落とされるので話題になりますが、青森の大間で獲れる本マグロ(クロマグロ)は億単位の値段がつきます。これは、2014年の海洋生物資源保護の観点から、マグロの漁獲量が制限されているためです。日本人は、海に囲まれているためか、魚を食べる事を好み、回転寿司の店も多く、スーパーではメバチマグロなどの輸入品を安く買う事ができます。このように、日本人が好きなマグロですが、海洋生物資源保護の点からは、大変貴重な魚であり、大切に食べなければならないと思います。



(公社)総合福祉活動委員会報

地域の高齢者の送迎支援と家事支援で支える総合福祉活動委員会は、コロナ禍の中にも拘らず、送迎支援(福祉有償運送)を11月末現在、9名の担い手が、61名の利用者を1156回実施して喜ばれている。主に医療施設や福祉施設、買物支援など外出に不安の中を安心できる送迎として活動している。このような情勢下での活動は、監督官庁の横浜市や県公認のかながわ福祉移動ネットワークなどから評価され、マスクや消毒液の提供を受けたので、新春に担い手へ配布する予定。

日常支援も多くの高齢者宅の樹木の剪定を実施している。



編集後記

明けましておめでとうございます。

今年が笑顔で外出や地域活動が出来る平稳な一年になります様、心から祈っております。

コロナ一色だった昨年は、北沢でも種々のイベントが中止され「薄曇り」の一年でしたが、その中で皆様のご協力のもと1面の年末統一パトロールや2面の地域独自活動、さらにはワンコインの地域生活支援事業等を進めて参りました。これからも検温・アルコール消毒・マスク着用と続くと思いますが、よろしくご協力の程お願いします。

早くコロナも治まり、正常な生活に戻りオリンピックも華やかに開催され、いつもの地域活動が出来る元気で明るい北沢となることを、丑にお願いモウシテ、お互に頑張りましょう。



加藤 邦雄 落合 清子 小上 ふぢい
前田貴美子 岩田 吉隆